

〈報道関係のみなさま〉

認知症を理解するための体験講座と、介護・認知症がテーマの映画鑑賞を組み合わせた 「認知症フレンドリー市民上映会」がスタート！

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:渡辺雅隆)は、映画製作会社の株式会社ワンダーラボラトリーと提携し、「認知症フレンドリー市民上映会」を始めました。認知症を理解するための体験講座「認知症フレンドリー講座」と映画鑑賞を組み合わせ、認知症や介護の課題を地域のみなさんが共有し、議論のきっかけにさせていただくものです。



朝日新聞社は、企業や自治体、学校などから依頼を受けた「認知症フレンドリー講座」を全国展開中です。認知症の人の生の声に触れられるインタビューや専門医の解説を収録した動画などを視聴してもらいます。さらにバーチャルリアリティ(VR)技術を駆使した機器で、認知症の人が見ている日常の世界を疑似体験できます。体験型の講座で認知症を「自分ごと」として理解できる場となっています。

ワンダーラボラトリー(本社・東京)は「社会課題」や「地域の魅力」を題材にした映画製作会社です。介護福祉士の青年の成長を描いた「ケアニン」シリーズなどの作品は、全国で草の根的に自主上映会を重ねる形で、異例のロングヒットを続けています。

この度、両社が連携し、地域のみなさんが開催する「市民上映会」に、「認知症フレンドリー講座」や「認知症 VR 体験会」を組み合わせ提供します。「認知症とともに生きる人」を支える人の視点で描かれた映画の観賞と、体験講座を組み合わせることで、認知症に対する理解をより深め、認知症の人に寄り添う気持ちを育んでもらうことが狙いです。

【提供する上映作品】

「ケアニン～あなたでよかった～」(2017年)／「ケアニン～ここに咲く花～」(2020年)／「ピア～まちをつなぐもの～」(2019年)／「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」(2019年)

>

contact

〈お問い合わせ〉朝日新聞社総合プロデュース本部
担当:坂田一裕 TEL 03-5540-7468
メールアドレス:dementiavr@asahi.com

【開催概要と提供価格】

「市民上映会」は、自治体や学校、企業、有志団体の単位で開催できる。申込者が「主催者」となり、会場確保や当日運営などを担う。開催日や会場などが決まれば、上映用のDVDかブルーレイが主催者に貸し出される。映画の貸出料などは、開催規模に関わらず必要。上映会だけの開催も受け付ける。オンライン開催も可能。「認知症フレンドリー講座」や「認知症VR体験会」とセットで申し込んだ場合は、講座や体験会の本体価格（上映会と別料金。詳細は下記URLで）について5%の額の値引きが受けられる。映画の貸出料は、鑑賞者100人まで5万円。超えた場合は1人につき500円を加算。「僕とケアニンとおばあちゃんたち。」のみ、50人まで2万5千円で、超えた場合は1人500円加算（価格は消費税別）。

【「認知症フレンドリー市民上映会」公式ウェブサイト】

<https://dementiavr.asahi.com/movie/>

【「認知症フレンドリー講座」公式ウェブサイト】

<https://dementiavr.asahi.com/>



【ワンダーラボラトリーの概要】

会社名	株式会社ワンダーラボラトリー
所在地	東京都渋谷区広尾1丁目2番1号 HIKARIビル4F
設立	2007年7月
代表者	代表取締役 山国秀幸
事業内容	動画やコンテンツの配信サービスの企画、製作、販売ほか
ウェブサイト	https://www.w-lab.jp/

【朝日新聞社の概要】

会社名	株式会社朝日新聞社
所在地	東京都中央区築地 5-3-2(東京本社)
創刊	1879年1月
代表者	代表取締役社長 渡辺雅隆
事業内容	新聞・デジタルメディアによるコンテンツ事業、展覧会などのイベント事業ほか
ウェブサイト	https://www.asahi.com/corporate/